

WEBSITE: www.rc-market.com

EMAIL: support@rc-market.com

256/512K UltraPAC-II

商品概要

このたびは256/512K UltraPAC-IIをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この商品はコンパクトサイズでありながら、最新のメモリ技術とマイクロコントローラを用い、最大でCAMPacの8倍のメモリ容量とその他さまざまな機能を備えています。この商品は、書込防止機能付きの64Kメモリブロックを複数組み合わせた構成になっています。256K UltraPAC-IIは4つ、512K UltraPAC-IIは8つの64Kメモリブロックで構成されています。いわば複数の64K CAMPacがひとつになり且つ個々にも操作が可能なものをご想像いただくとよいかと思えます（ただし送信機は一操作で64Kまでしか扱えないため一度にアクセスできるのは1メモリブロックになります）。アクセスするメモリブロックを選択したり、その他の機能を使うときはUltraPAC-IIの小さな押ボタン（図の2）で全て操作します。このボタンで操作すると、隣りのLEDランプ（図の3）でその操作の状態が確認いただけるようになっています。外部メモリへの書き込みやアクセス方法についてはご利用の送信機のマニュアルをご参照ください。

取り付けについて

UltraPAC-

IIを取り付ける際、または取り外す際は、必ず送信機の電源がオフになっていることを確認してください。取り付けの際は、まずPin1の三角印（図の1）が右側にあることを確かめてから、UltraPAC-IIのソケットを送信機のメモリモジュール接続口内のプラグに正しく差し込みます。誤ってソケットがずれて差し込まれると送信機とUltraPAC-II両方へダメージを与えてしまいますので十分気をつけてください。

セルフテスト

UltraPAC-

IIの押ボタン（図の2）を押しながら送信機の電源を入れるとセルフテストができます。ボタンを押している間のみテストの結果を以下のようにLEDランプの状態が表示します。故障かな？と思ったらまずセルフテストをお試ください。

- LEDランプ点灯 → 動作確認結果は「正常」
- LEDランプ点灯しない → 動作確認結果は「異常」（当店サポートまでお問い合わせ下さい。）

NOTE: セルフテスト実行中にUltraPAC-II内のデータを読み込もうとすると、送信機の画面に「EXTN MEM MISSING（外部メモリがありません）」というエラーが表示されます。これはUltraPAC-IIがセルフテスト中でアクセスできないために生じたもので、実際に外部メモリがなくなったわけではありません。

メモリブロックの選択方法

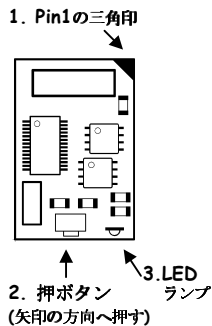
- UltraPAC-IIの押ボタン（図の2）を押しながら送信機の電源を入れ、セルフテストを実行しLEDランプが正常に点灯することを確認します。（このセルフテストを省くことはできません）
- UltraPAC-IIの押ボタンを離すと、現在アクセス中のメモリブロックの番号をLEDランプが点滅する数で繰り返して表示します。例えば2番の場合は「パバッ、パバッ...」3番ならば「パバパッ、パバパッ...」という具合に点滅します。
- UltraPAC-IIの押ボタンを押すごとに次のメモリブロックへ切り替わります。LEDランプの点滅数も1つずつ増えていきます。ランプの点滅数を見ながら希望のメモリブロックまで押し進みます。最後のブロックまできた後はまた1番から始まります。
- 希望のメモリブロックを選択したら、一旦電源を切ってから今度はUltraPAC-IIの押ボタンを押さずに再度電源を入れます。これで希望のメモリブロックに選択されました。

メモリブロックを書込禁止にする

- 上記「メモリブロックの選択方法」にある要領で書込禁止にしたいメモリブロックを選択します。
- 希望のメモリブロックを選択してLEDランプの点滅数を確認したら、UltraPAC-IIの押ボタンをLEDランプの点滅が点灯が変わるまで数秒間押し続けます。
- ボタン離すとメモリブロックが書込禁止に設定されます。すでに書込禁止に設定されているメモリブロックの場合は書込禁止が解除されます。

NOTE:

LEDランプの点滅の仕方を注意深く見るとメモリブロックが書込禁止に設定されているかどうか分かります。



- 書込禁止なしのメモリブロックはランプが長めに点滅します。例えば2番ならば「点灯...→OFF→点灯...→OFF→間隔」という具合に繰り返します。
- 書込禁止のメモリブロックはランプが短めに点滅します。例えば2番ならば「短い点灯→OFF→短い点灯→OFF→間隔」という具合に繰り返します。

書込禁止機能の留意点

書込禁止設定したメモリブロック内にある設定データを更新しようとする時、送信機の画面に「EXTN MEM MISSING（外部メモリがありません）」というエラーが表示されます。これは変更しようとするデータが書込禁止設定したメモリブロック内にあるために送信機がエラーとして表示したもので文字通りのエラーではないのですが、ときには別の要因でエラーが表示されている可能性がありますので、いったん送信機の電源を切って再度電源を入れ直すようにして下さい。もし書込禁止設定以外でこのエラーが表示されるときは深刻なトラブルの可能性がありますので、当店サポートまでお問い合わせ下さい。その際UltraPAC-IIは送信機から外してください。またトラブルを防ぐためにも書込禁止設定したメモリブロック内にある設定データを読み出して飛行に使うことはおやめください。

9Zをご利用の方へ: 選択したメモリブロックが書込禁止設定されている場合や、現行のプログラム（11-26のみ）にMSLメニューを使うよう変更した場合も「EXTN MEM MISSING（外部メモリがありません）」エラーが表示されます。

サービスメニューへのアクセス

- UltraPAC-IIの押ボタン（図の2）を押しながら送信機の電源を入れ、セルフテスト実行しLEDランプが正常に点灯することを確認します。
- UltraPAC-IIの押ボタンをLEDランプが消えるまで10秒ほど押したままにします。
- ボタンを離します。LEDランプが点灯してサービスメニューイネーブラーが起動したことを表示します。
- 一旦電源を切って再度電源を入れます（UltraPAC-IIの押ボタンは押さないこと）。サービスメニューが液晶画面に表示されます。サービスメニューについての詳細はRC-marketのwebsiteをご覧ください。

NOTE: 9Zのサービスメニューで変更を加えた際、一部機能が正常に動作しなくなることがあります。その際は送信機を一旦リセットすると元の正常な状態に戻ります。しかしリセットすると送信機のメモリ内にあるデータは消えてしまいますので、リセットする前に送信機メモリ内のデータをUltraPAC-IIにコピーしておくようにして下さい。

重要:

サービスメニューイネーブラーで変更を加えた後はそれがどんなに小さな変更であっても、送信機のすべての機能が問題なく作動しているかどうかを必ず確認するようにして下さい。

メモリ全消去と整合性テストについて

- UltraPAC-IIの押ボタン（図の2）を押しながら送信機の電源を入れ、セルフテスト実行しLEDランプが正常に点灯することを確認します。
- UltraPAC-IIの押ボタンをLEDランプが消えるまで10秒ほど押したままにして、さらにLEDランプが消えた後もそのまま20秒ほど押し続けるとメモリ全消去が始まります。
- メモリ消去中はLEDランプが早く点滅します。あとはボタンを離してLEDランプが以下の表示をするまで待ちます。
 - LEDランプが早い点滅から点灯になると、全消去と整合性テストが正常に終了した合図です。
 - LEDランプが消えたままのときは、消去に失敗したか、もしくはメモリブロックが使えないという合図です。

NOTE:

この全消去は選択されたメモリブロックのみで実行されます。消去したいメモリブロックが選択されているかを確認してから行ってください。書込禁止設定されたメモリブロックでは全消去は実行されません。その際LEDランプが1度だけ点滅して書込禁止設定されたメモリブロックであることをお知らせします。

UltraPACの取り扱いについて

送信機から取り外したUltraPACは、購入時の梱包に使われていた帯電防止袋に入れて保管してください。保管は乾燥した涼しい場所で行ってください。夏や暑い日に自動車の中に置いたままにしないようにしてください。また、不必要に回路に触れないようにしてください。UltraPACを扱う前は、金属に触れるなどして体の静電気を放電することをお勧めします。水道の蛇口や電気機器などの金属に触れると効果的にアースできます。

UltraPACを頻繁に抜き差しするという場合は、粘着テープなどを利用して取り出し用の小さなつまみを作ると便利です。取り出し口側に1-2cm幅の粘着テープを直接UltraPACの裏側に貼り1cmぐらいのつまみになるようテープを折り重ねて貼り合えます。この程度の長さなら送信機の防塵キャップの下に仕舞い込むことができます。

免責条項

この製品の取り付けおよび取り扱いにおいて、購入者の使用に起因する他機器への任意の破損、故障、その他いかなるトラブルに関してもRC marketはその責任を負いません。また、この製品の使用を開始した時点で、購入者はこの製品が及ぼす全ての責任を受理するものとします。

UltraPACの保証期間は購入より1年間です。故障の際は修理・交換（一部有料）いたします。